





# まちに伝わるまつりを見にいこう！

## まつりとは？

まつりとは、季節や節目ごとに、神や仏、先祖の霊を招いて供物を捧げたり、にぎやかな催しを行うことで、災いを追い払い、幸福を願う行事です。市内には古くからくらしの中ではなくてきた多くのまつりが伝えられています。こうした伝統行事にまつる風俗、慣習、用具などを民俗文化財と呼びます。このパンフレットは、国・富山県・射水市が指定した民俗文化財を取り上げています。



### ①西宮神社のボンボコ祭 (4月19日 ※1)

海上の安全を守るとされる恵比須神の像を乗せた漁船が、新湊漁港沖ほか2箇所を巡ります。魔よけの祈りを込めたボンボコ舞が演じられます。

※1 不漁や海難事故があった年の翌年に行われるならわしがあり、毎年行われるまつりではありません。



### ②放生津の曳山祭 (10月1日)

昼は花山、夜は提灯山と呼ばれる装いを施した曳山13基が、囃子の音色を響かせて町を巡ります。



### ③放生津八幡宮の築山祭事 (10月2日)

姥神と呼ばれる人形を中心に、よろいかぶとを着た四天王の人形を立てた築山(仮の神殿)を設け、先祖の霊を招いておまつりします。



- 小学校
- 主なまつり
- 射水市の境目

500 0 1000 2000m

みんなのまちには、  
いろんなまつりがあるよ。  
さがしてみよう。



### ④潤建のえびす様渡し (11月第3土曜日)

漁業関係者が、1年ごとに恵比須神を描いた掛軸を持ち回りでおまつりし、海の恵みを祈ります。



### ⑤黒河夜高祭 (8月20日～26日の間の土曜日)

夜、子どもたちが行灯を掲げながら練り歩いて、地区から災いを追い払い、豊作を祈ります。



### ⑥大門の曳山祭 (「体育の日」の前日)

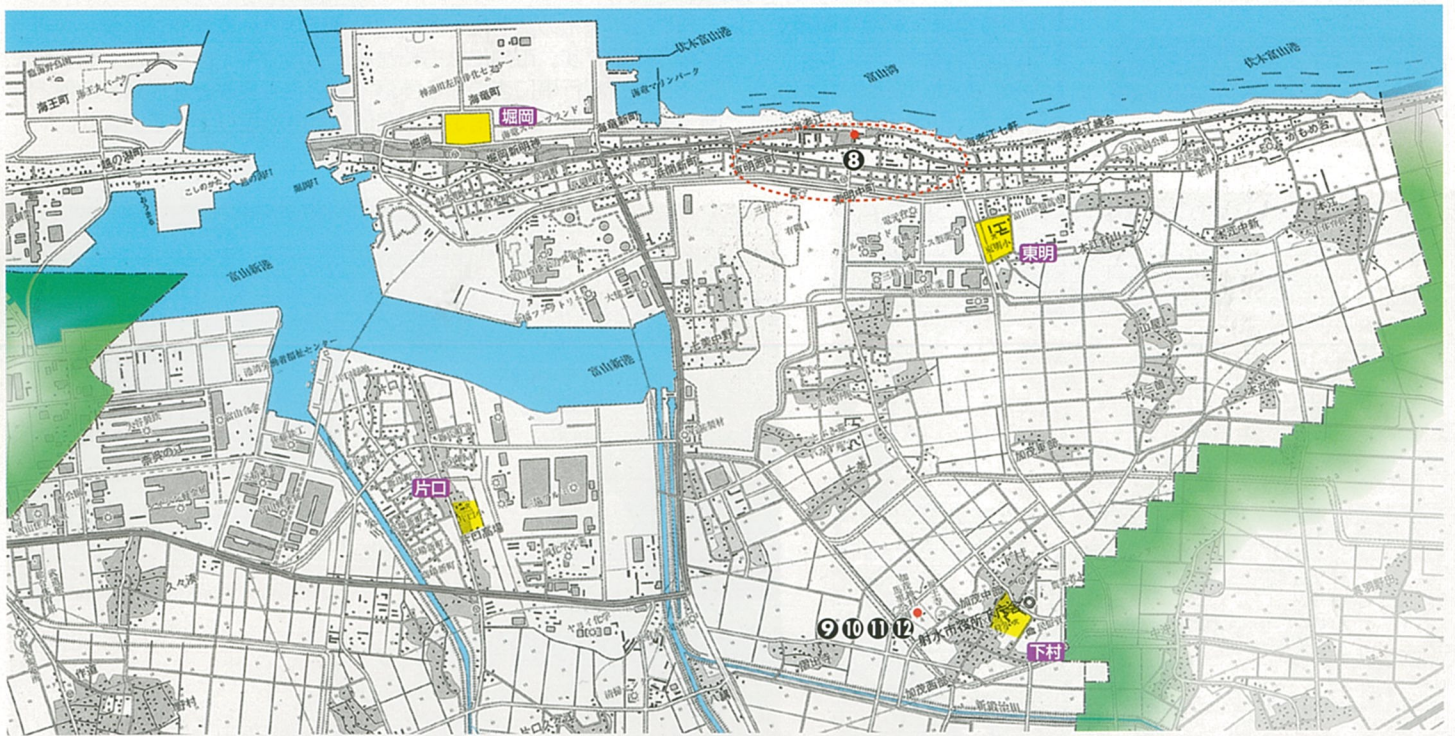
曳山4基が庄川を挟んで行き来します。富山県内その年の曳山祭りの締めくくりとなる秋まつりです。



### ⑦赤井の獅子舞 (4月第1土曜日)

母獅子から子獅子が産まれる演目があります。射水地区と婦負地区の獅子舞を組合せた形が特徴です。





えびえ ひきやまつり  
**③海老江の曳山祭**  
 (秋分の日)

曳山3基が巡行します。北海道から伝えられた木遣り節が停車中に唄われています。



しもむらかもじんじゃ ぶりわ しんじ  
**⑨下村加茂神社の鰯分け神事**  
 (1月1日)

市内の3地区が塩鰯を供える元日の行事です。祭りの後、塩鰯は切り分けられて3地区の氏子に配ります。



しもむらかもじんじゃ  
**⑩下村加茂神社やんさんま**  
 (5月4日)

神の乗る牛を座らせ、豊作を祈ります。乗り手が、走る馬に乗り、弓矢で高い的を射て、その年の豊作を祈ります。



しもむらかもじんじゃ おたうえまつり  
**⑪下村加茂神社の御田植祭**  
 (6月初卯日)

境内の一角を水田に見立ててならし、モチ苗を植え付けるしぐさをして、豊作を祈ります。



しもむらかもじんじゃ ちごまい  
**⑫下村加茂神社の稚児舞**  
 (9月4日)

子ども4人が、<sup>がく</sup>雅楽を元にした9曲の舞を演じて、神に<sup>ささ</sup>実りの秋を迎えた感謝を捧げます。

お問い合わせ



きょういくいしんかい  
**教育委員会**  
**文化・スポーツ課文化係**  
 射水市加茂中部893 (射水市役所下庁舎内)  
 ☎59-8093  
 bunka-sports@city.imizu.lg.jp